

欧州委員会、主要課題に取り組むための「EU ミッション」を開始

2021/9/29

<日本語仮訳>

欧州委員会は本日、欧州および世界の人々の生活を協力して向上させる斬新で革新的な手法である、5つの新しい「[EU ミッション](#)」を開始した。EU ミッションは、健康、気候、環境における主要な課題に取り組み、これらの分野で野心的で刺激的な目標の達成を目指す。

「[ホライズン・ヨーロッパ](#)」の新機軸であり、また EU 政策における独自の概念でもあるミッションは、9名の欧州委員の権限に基づいて複数の欧州委員会総局が一体となって、欧州委員会の主要な優先事項を実現し、がんとの闘い、気候変動への適応、海洋・水域の保護、より環境負荷の低い都市生活、健全な土壌と食料の確保など、今日われわれが直面している最大の課題への対応策を見出すために研究を支援する。ミッションは、社会に大きな影響を与える具体的な目標を一定の期間内に達成するため、研究・イノベーションプロジェクト、政策措置、立法措置など一連の行動を伴う新しい手段である。次の5つのミッションにより、2030年までに主要な地球規模の課題に対する解決策を提供することを目指す。

1. **気候変動への適応**：2030年までに150以上の欧州の地域やコミュニティが気候レジリエントとなるよう支援
2. **がん**：「欧州がん撲滅計画（Europe's Beating Cancer Plan）」と連携し、より長くより良く生きるための予防・治療・解決策を通じて、2030年までに300万人以上の人々の生活を改善
3. 2030年までに**海洋と水域**を回復
4. 2030年までに100の**気候中立でスマートな都市**
5. **欧州土壌政策（Soil Deal for Europe）**：2030年までに健全な土壌への移行を先導する100の生きた実験場とライトハウス（優れた事例を紹介する場）

マルグレーテ・ヴェスタエアー 「デジタル時代にふさわしい欧州」担当執行副委員長

「本日、われわれは、5つの新しいミッションを開始した。ミッションは新しい革新的な手段であり、ホライズン・ヨーロッパにおいて協働するための新しい方法である。また、それらはEUの政策の中で独創的な概念でもある。ミッションは、がんとの闘い、気候変動への適応、海洋・水域の保護、より環境負荷の低い都市生活、健全な土壌と食料の確保など、われわれが今日直面している最大の課題を解決するための

コミットメントである。これは、研究・イノベーションプロジェクト、政策措置、立法措置、市民参加など、社会に大きな影響を与える具体的な目標を達成するための一連の行動である。われわれは、2030年までに主要な地球規模の課題に対する解決策を提供することを望んでいる」

マリヤ・ガブリエル イノベーション・研究・文化・教育・青少年担当欧州委員

「新型コロナウイルス感染症のパンデミックへの対応は、研究とイノベーションに根差した集団的な取り組みによってのみ最大の課題に取り組むことができることを示した。それは、大胆で野心的な EU ミッションの出発点でもある。ミッションは、重要な目標を達成するために、EU の並外れた潜在力を動員し、さまざまな手段や政策を結集する。そして、これら全てを、最初から最後まで参加する市民と共に実施する」

本年夏にミッションの個々の計画が承認された後、本日、「[EU ミッションに関するコミュニケーション（政策文書）](#)」が採択されたことで、欧州委員会は、ミッションの開始を承認した。

ホライズン・ヨーロッパ以降の EU ミッション

ミッションは、現代の主要な課題に取り組むための新しい**協調的な手法**で、一定の期間内に特定の目標を達成することを使命としている。また、新しい形のガバナンスや協働、若者など市民との新しい関わり方と組み合わせ、研究やイノベーションに新たな役割を与えることで、**影響力**を生み出す。

例えば、気候変動への適応ミッションでは、洪水など気候に起因する主要な災害対策に関する地域の実情に応じた大規模実証実験に 1 億ユーロの資金を提供することを計画している。がんミッションでは、欧州におけるがんに関する研究・イノベーション・政策立案を体系的かつ効果的に統合する斬新な共同ガバナンスモデルを確立する計画である。海洋と水域ミッションでは、海や河川流域でライトハウスのネットワークを構築し、ミッションの実施と海洋保護区のネットワークの拡大を図る。気候中立・スマートな都市ミッションでは、選定された都市が、2030 年までの気候中立の達成に向けて、市民を巻き込み「気候都市契約（Climate City Contracts）」を策定する。また、土壌政策ミッションでは、土壌の健康を集団で改善する市民科学的な取り組みへの参加を人々に呼びかける。

[ホライズン・ヨーロッパ](#)に基づくミッションの**実施**は、研究やイノベーションにとどまらず、新しい解決策を作り出し、欧州市民の生活を向上させるものである。ミッションの新規性と付加価値は、EU、国、地域、地方レベルでのさまざまな手段、ビジネ

モデル、官民の投資を伴う行動の組み合わせとして運営されることにある。ミッションが成功するには、その他の EU 計画や各国の国家計画からの支援が不可欠である。また各ミッションには、それぞれの課題と実施計画に合わせた特定の期限と予算がある。

EU ミッションは、ミッションの設計、実施および監視に市民が関与するなど、**市民**と直接につながる。EU 加盟国、地域および官民の幅広い利害関係者が参加して、全ての EU 市民にとって持続的な成果が上がるようにする。

ミッションは、「[欧州グリーンディール](#)」、「[デジタル時代にふさわしい欧州](#)」、「[欧州がん撲滅計画](#)」、「[人々のための経済](#)」、「[新欧州バウハウス](#)」など、欧州委員会の優先事項を支えるものだ。例えば、すでに気候ミッションは新「[気候適応戦略](#)」の、がんミッションは「[欧州がん撲滅計画](#)」の具体的な要素となっている。また、土壌ミッションは「[EU 農村地域のための長期ビジョン](#)」の主要な取り組みである。

欧州委員会は、9月23日に「[科学技術に関する特別ユーロバロメーター](#)」を発表した。EU 全域を対象とした同調査の結果は、ミッションで特定された課題の解決に向けた**科学とイノベーションに対する市民の支持**を明確に示している。例えば、欧州市民の圧倒的多数は、今後 20 年間に科学とイノベーションが生活にプラスの効果をもたらす分野として、健康とグリーンエネルギーを挙げている。

次のステップ

EU ミッションは、本日より本格的な実施段階に入る。[6月16日に発表](#)された 2021 年～2022 年のホライズン・ヨーロッパの最初の[作業計画](#)には、ミッションの実施に向けた基盤を作る一連の計画が含まれている。年内に、研究・イノベーションの本格的な計画が定められ、作業計画は更新される予定である。同時に、ミッションは、参加する地域や都市、団体および EU 加盟国の市民と連携していく。

背景

2020 年 9 月にミッション委員会 (Mission Board) の一流の専門家が欧州委員会に提出した[提案](#)に基づいて、「[ホライズン・ヨーロッパ戦略計画](#)」の中で 5 つのミッションが特定された。ホライズン・ヨーロッパは、2023 年までに最大 19 億ユーロの初期資金をミッションに提供する。2020 年 10 月、欧州委員会は提案された 5 つのミッションを承認した。5 つのミッションは、目的、達成方法、成果を測る指標を含む、5 つ

の詳細な実施計画を策定する準備段階に入った。欧州委員会は、これら実施計画を特定の基準に基づいて評価した。

さらに詳しくは

[Questions & Answers: EU missions](#)

Factsheets:

- [EU missions](#)
- [Mission Adaptation to Climate Change](#)
- [Mission Cancer](#)
- [Mission Restore our Ocean and Waters](#)
- [Mission Climate-Neutral and Smart Cities](#)
- [Mission Soil Deal for Europe](#)

[Communication on EU missions](#)

[Implementation Plans for the EU Missions](#)

[EU missions](#) website

原文は[こちら](#)をご覧ください。